



中川 くにこ

Cunico NAKAGAWA (Sop. ソプラノ)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。ボローニャ国立音楽院留学。1982年マリオデルモナコ年国際コンクールPremio Speciale(特別賞)マテリアル大賞を受賞しイタリアデビュー。

NHK、内外のオペラや数多くのコンサート、国際コンクールの審査等で国際的な活動を続けている。日本音楽界の草分けとして活躍した父中川牧三から学んだベルカントの発声を基礎に、20世紀を代表するイタリアオペラ界の巨匠(半世紀以上に亘る父牧三の親友)レナータ・テバルディ、マリオ・デル・モナコ、ジーン・ベーキ、ジュリエッタ・シミオナート、マグダ・オリヴェーロ等より愛顧と教示を直に受け、本場イタリアにて長年に亘って真のベルカントを研鑽。大阪芸術大学で6年間教鞭をとった後、再度イタリアに活動拠点を移しボローニャ国立音楽院においてイタリア国立機関音楽教育を本格研究。日本やイタリアで一流のアーティストと共演する演奏活動と並行して世界有数の国際コンクールの運営や審査に早くから携わり、イタリアやアメリカの名門コンクールのオブザーバーを1986年から世界最年少でつとめる。現在もイタリア・ミラノ「マグダ・オリヴェーロ国際コンクール」主席審査員、ブスコルド「G・ヴェルディ国際コンクール」審査委員、毎日新聞・日本イタリア協会共催「イタリア声楽コンコルソ」および「イタリアピアノコンコルソ」審査総務委員長。2009年Maestro Makizo NAKAGAWAを記念して「コンコルソMusicArte」(全部門)創設、審査運営委員長。内外の一流演奏会や音楽祭のキャスティングコーディネーターをつとめるなど、父牧三の広い人脈を継ぎイタリアと日本を往来しながらベルカントの普及と国際的な音楽教育、文化交流に尽力している。

2008年より日本イタリア協会理事長。

関西二期会、日本演奏連盟会員、大阪日伊協会理事